

2018年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム

時間	第1会場 (セミナー室 1・2)		第2会場 (会議室 1)	
	座長	報告課題・報告者	座長	報告課題・報告者
10:00 10:25	多田稔 (近畿大学)	1-1. 「伊勢志摩」と「海女」に対する消費者評価の変化—伊勢志摩サミットの前後を含む比較— 三重大学 大串浩暉・松井隆宏・山田二久次	宮田勉 (中央水産研究所)	2-1. 沿岸域生態系の経済価値と認知度の影響 東京海洋大学 中原尚知・岩田繁英・婁小波
10:25 10:50		1-2. わが国における食文化の地域性からみたサケ購入行動に関する分析 福岡工業大学 望月政志・大石太郎 東京大学 八木信行		2-2. 地域特産品開発と事業連携の仕組み—歯舞漁協の「はぼまい昆布しょうゆ」を事例として— 東京海洋大学大学院 及川光 東京海洋大学 婁小波
10:50 11:00	休憩			
11:00 11:25	若松宏樹 (中央水産研究所)	1-3 有明産アサリとノリを用いたおにぎりの消費者評価—評定型コンジョイント分析によるブランドの相乗効果の検証— 福岡工業大学 解 慧芳・望月 政志・大石 太郎	綿貫尚彦 (OAFIC)	2-3 地域マネジメント・ツールとしての国際資源管理認証—南三陸町の事例から— 東京海洋大学 川辺みどり・婁小波
11:25 11:50		1-4 水産業復興特区制度に対する漁業者意識—質問紙調査に基づく類型化— 元京都大学 大南絢一 元三重大学 安藤華奈子・菊池美里 三重大学 原田幸子・山田二久次・松井隆宏		2-4 揚子江における捕漁禁止の生態補償に関する一考察 上海海洋大学 陳廷貴
11:50 14:10	休憩 + 総会			
14:10 14:35	松井隆宏 (三重大学)	1-5 魚類養殖における収益性の国際比較 中央水産研究所 神山龍太郎	川辺みどり (東京海洋大学)	2-5 中国における沿岸域漁業管理改革のあり方—浙江省舟山市を事例に— 上海海洋大学 李欣・唐議・楊婧
14:35 15:00		1-6 The Influence of Salmon Quality Characteristics on its Price Determination in Shanghai Supermarket Tokyo University of Marine Science and Technology Du Ya・Lou Xiaobo・Yao Wei Fukuoka Institute of Technology Taro Oishi Shanghai Ocean University of Economy Management Liu Yiyang		2-6 Satoumi の国際的な広がりとその意義 沖縄県海洋深層水研究所 鹿熊信一郎

15:00 15:10	休 憩			
15:10 15:35	(福岡工業大学 大石太郎)	1-7 漁獲量, 漁獲確率の推定を用いた社会影響評価に関する考察 東京海洋大学 岩田繁英・中原知尚・婁小波	(中央水産研究所 神山龍太郎)	2-7 フィリピンにおける浮沈式養殖技術の普及・実証について 日東製網株式会社 細川貴志 OAFIC 株式会社 綿貫尚彦
15:35 16:00		1-8. <提言報告>CoC 認証とトレーサビリティにおけるブロックチェーン導入の意義・有用性と課題 専修大学 小川健		2-8 ジェンダーの視点から考える養殖開発～フィリピン台風被災地を事例として～ グローバルリンクマネジメント株式会社 高志名美 OAFIC 株式会社 綿貫尚彦 日東製網株式会社 細川貴志 レイテ州政府 イメルダシーベルト

※報告時間は 17 分、質疑応答は 8 分とします。